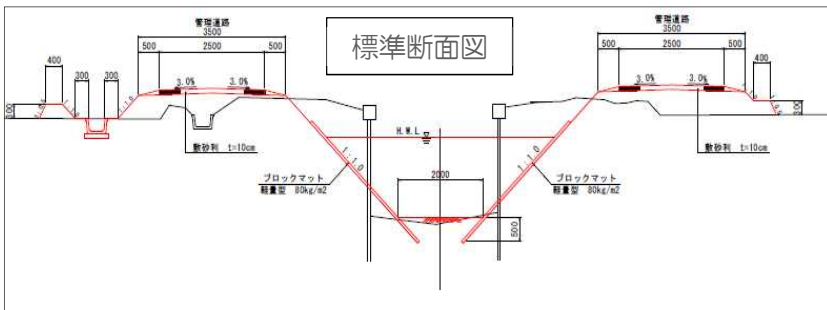
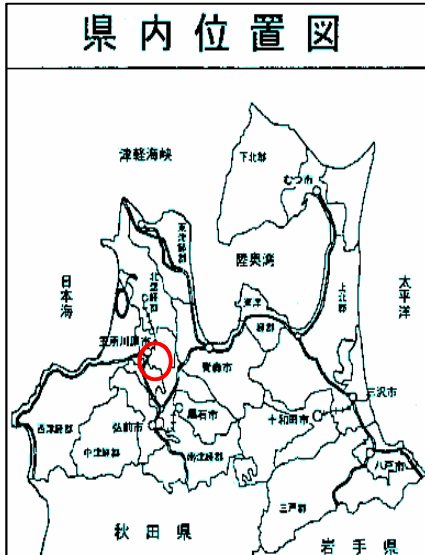


放水路に生きる絶滅危惧種を守れ！（西北地域県民局の巻 その 47）

鶴田町において、老朽化した放水路を改修する工事を行っています。



本地区では令和 3 年度から令和 5 年度にかけ砂沢放水路地区農業水路等長寿命化・防災減災事業により、老朽化した放水路の改修工事を行います。

放水路は上流のため池に貯水した水を下流へ流すための水路です。

本水路には、準絶滅危惧種の産卵母貝が生息しており、生態系保護のため、工事着手前に移植作業等を実施しています。

産卵母貝移植作業の様子

放水路内には、準絶滅危惧種の産卵母貝が多く生息しています。産卵場所を保護するため、令和4年10月27～28日の2日間にわたり、弘前大学及び工事受注者の榊須郷土木と協力し、工事区間に生息する産卵母貝を工事による影響が少ない区間へ移植しました。

移植作業は水路底部の土砂を重機ですくい上げ、土砂の中から貝を探し出す方法で行います。重機の進入が困難な区間については、水路内を網や手探りにより貝を探し出します。

【令和4年度 移植作業の実績】

対象箇所：約200m

保護数：総数 1,375 個（イシガイ 951 個、ヨコハマシジラガイ 261 個、ドブガイ 163 個）



貝の移植作業①



貝の移植作業②



貝の移植作業③



採取結果

県では、水路改修工事の令和5年度完了に向けて、来年度も引続き移植作業を継続のうえ、工事を進めてまいります。

「環境公共」ホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kankyokoukyou.html>